

6 市場事業

(1) 事業数

平成24年度における市場事業の事業数は、下記の7事業10施設で、いずれも法非適用事業である。
(このうち気仙沼市地方卸売市場気仙沼市魚市場は、平成24年7月に事業を廃止している。)

市場種別	団体名	市場名
中央卸売市場 (1事業2施設)	仙台市	仙台市中央卸売市場本場(青果・水産物・花き) 仙台市中央卸売市場食肉市場
地方卸売市場 (6事業8施設)	石巻市	石巻市水産物地方卸売市場石巻売場 石巻市水産物地方卸売市場牡鹿売場
	塩竈市	地方卸売市場塩竈市魚市場
	気仙沼市	地方卸売市場気仙沼市魚市場 地方卸売市場気仙沼市青果市場
	大河原町	大河原町地方卸売市場(青果)
	女川町	女川町地方卸売市場(水産物)
	南三陸町	南三陸町地方卸売市場(水産物)

(2) 施設の利用状況

年間取扱高は45万5,110tで、前年度に比べ6万2,507t(15.9%)増加している。その内訳は、青果物が20万7,737t、水産物が22万3,957t、食肉・鶏卵・その他が2万3,416tとなっている。前年度に比べ青果物が148t(0.1%)、水産物が5万5,369t(32.8%)、食肉・鶏卵・その他が6,990t(42.6%)それぞれ増加している。

年間売上高は1,788億97百万円で、前年度に比べ186億80百万円(11.7%)増加している。その内訳は、青果物が468億20百万円、水産物が1,072億2百万円、食肉・鶏卵・その他が248億75百万円で、前年度に比べ青果物が9億36百万円(2.0%)減少し、水産物が141億48百万円(15.2%)、食肉・鶏卵・その他が54億68百万円(28.2%)それぞれ増加している。

また、市場関係業者数は卸売業者15社、仲卸業者46社、売買参加人が1,685人、関連事業者が47人となっており、前年度に比べ卸売業者が1社、売買参加人が125人それぞれ減少し、関連事業者が2人増加している。

第1表 利用状況の推移

年 度		20		21		22		23		24		対前年度比較	
			構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)	a	構成比 (%)	b	構成比 (%)	b - a c	(c/a) ×100(%)
項 目													
取 扱 高 (t)	青 果 物	229,090	30.8	219,652	33.0	200,336	31.8	207,589	52.9	207,737	45.6	148	0.1
	水 産 物	487,724	65.6	419,095	62.9	402,436	63.9	168,588	42.9	223,957	49.2	55,369	32.8
	食肉・鶏卵・その他	27,197	3.7	27,640	4.1	27,287	4.3	16,426	4.2	23,416	5.1	6,990	42.6
	計	744,011	100.0	666,387	100.0	630,059	100.0	392,603	100.0	455,110	99.9	62,507	15.9
売 上 高 (百万円)	青 果 物	49,755	22.2	47,353	23.7	48,466	23.7	47,756	29.8	46,820	26.2	▲936	▲2.0
	水 産 物	144,800	64.5	124,004	62.2	128,811	62.9	93,054	58.1	107,202	59.9	14,148	15.2
	食肉・鶏卵・その他	29,914	13.3	28,111	14.1	27,475	13.4	19,407	12.1	24,875	13.9	5,468	28.2
	計	224,469	100.0	199,468	100.0	204,752	100.0	160,217	100.0	178,897	100.0	18,680	11.7
業 者 数	卸 売 業 者 (社)	18	—	18	—	17	—	16	—	15	—	▲1	▲6.3
	仲 卸 売 業 者 (社)	46	—	46	—	46	—	46	—	46	—	0	0.0
	売 買 参 加 人 (人)	2,127	—	2,075	—	2,056	—	1,810	—	1,685	—	▲125	▲6.9
	関 連 事 業 者 (人)	45	—	45	—	45	—	45	—	47	—	2	4.4

(注) 青果物は「野菜」+「果実」、水産物は「水産物」、食肉・鶏卵・その他は「肉類・鳥類・卵類」+「その他」をいう。

(3) 経営状況

市場事業の収益的収支における総収益は25億86百万円で、前年度に比べ2億55百万円(11.0%)増加しており、総費用は19億56百万円で、前年度に比べ11百万円(0.6%)減少している。この結果、収支差引では6億30百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が2億67百万円(73.4%)増加している。

また、資本的収支における収入は27億20百万円で、前年度に比べ18億9百万円(39.9%)減少しており、支出は37億95百万円で、前年度に比べ4億53百万円(10.7%)減少している。この結果、収支差引では10億74百万円の赤字となり、前年度に比べ13億56百万円減少している。

収益的収支と資本的収支を合わせた収支再差引は4億45百万円の赤字で、これに前年度からの繰越財源等を調整した実質収支は26百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が24百万円(1,086.7%)増加している。

なお、収益的収支比率は75.5%で、前年度に比べ1.6ポイント上昇している。

第2表 市場事業の収支状況の推移

(単位:百万円、%、人)

項 目		年 度	20	21	22	23	24	対前年度比較	
								a	b
収 益 的 収 入	総 収 益 A	3,443	2,670	2,647	2,331	2,586	255	11.0	
	営 業 収 益	2,172	1,802	1,807	919	1,574	655	71.3	
	う ち 料 金 収 入	1,900	1,784	1,791	904	1,560	655	72.5	
	受 託 工 事 収 益	254	0	0	0	0	0	—	
	ち 所 の 他	18	18	16	15	15	0	▲2.6	
	営 業 外 収 益	1,271	869	840	1,411	1,012	▲400	▲28.3	
	う ち 他 会 計 繰 入 金	871	508	451	1,053	535	▲518	▲49.2	
	総 費 用 B	2,742	2,277	2,201	1,967	1,956	▲11	▲0.6	
	営 業 費 用	2,282	1,863	1,859	1,634	1,657	23	1.4	
	う ち 職 員 給 与 費	438	414	403	386	369	▲17	▲4.4	
支 出	営 業 外 費 用	460	414	342	333	299	▲35	▲10.4	
う ち 支 払 利 息	369	342	320	296	271	▲25	▲8.5		
収 支 差 引 (A-B) C	701	393	446	363	630	267	73.4		
資 本 的 収 入	資 本 的 収 入 D	1,043	1,308	1,412	4,529	2,720	▲1,809	▲39.9	
	地 方 債	349	610	627	669	990	321	48.0	
	他 会 計 繰 入 金	562	583	669	2,318	561	▲1,757	▲75.8	
	工 事 負 担 金	0	0	0	1	0	▲1	皆減	
	国 ・ 県 補 助 金	95	111	76	1,405	1,167	▲238	▲16.9	
	そ の 他	38	5	40	136	2	▲134	▲98.5	
	資 本 的 支 出 E	1,422	1,710	1,857	4,247	3,795	▲453	▲10.7	
	建 設 改 良 費	519	788	846	2,838	2,291	▲547	▲19.3	
	地 方 債 償 還 金 e	892	910	990	1,187	1,471	285	24.0	
	そ の 他	11	13	20	222	32	▲190	▲85.5	
収 支 差 引 (D-E) F	▲379	▲402	▲444	282	▲1,074	▲1,356	—		
収 支 再 差 引 (C+F) G	322	▲8	2	645	▲445	▲1,090	—		
積 立 金 H	0	0	0	0	0	0	▲99.5		
前 年 度 か ら の 繰 越 金 I	10	21	13	14	659	645	4,509.4		
前 年 度 繰 上 充 用 金 J	311	0	0	0	0	0	—		
形 式 収 支 (G-H+I-J) K	21	13	14	659	235	▲424	▲64.3		
翌 年 度 に 繰 越 す べ き 財 源 L	11	1	13	657	209	▲448	▲68.1		
実 質 収 支 (K-L)	10	11	1	2	26	24	1,086.7		
う ち	黒 字	10	11	1	2	26	24	1,086.7	
	赤 字	0	0	0	0	0	0	—	
職 員 数	57	54	52	49	47	▲2	▲4.1		
収 益 的 収 支 比 率 A/(B+e)	94.7	83.8	82.9	73.9	75.5	1.6	—		